



念青唐古拉山脉東部 未踏のチャンデン6691m(中央)東面
ネナン南東約6000m地点より西南西方向 Photo by Mr. Mark Richey (ex AAC Chairman)

目 次

2008年6月2日英国王立地理学協会における受賞式—3

2008年9月30日東京富士屋ホテルにおける受賞祝賀会—4

地図-ヒマラヤの東—5

地図-ヒマラヤの東-未踏の山々—6

1. 念青唐古拉山脈(Nyainqen Tanggula Shan)東部の山々—7

川蔵南路より八松措方面へ—8

川蔵南路より朱拉鄉方面へ—9

川蔵南路より易貢蔵布へ—10

念青唐古拉山群東部核心部—12

川蔵南路より波堆蔵布へ—14

川蔵南路を波密へ—19

2. 崗日嘎布(カンリガルボ)山群の山々—20

川蔵南路を然烏經由崗日嘎布山群へ—21

3. 川蔵南路を東へ—23

4. 深い浸食の国—24

チベットの神秘の河-玉曲(サルウィン河支流)

サルウインの大屈曲部-雲南省—25

ツァワロンの村と人—26

玉曲沿いに進むキャラバン—28

他念他翁山の主峰ダムヨン(大基勇6324M) —29

写真:1、4、7P以外は全て中村保氏撮影

2008年6月2日
英国王立地理学協会にて受賞



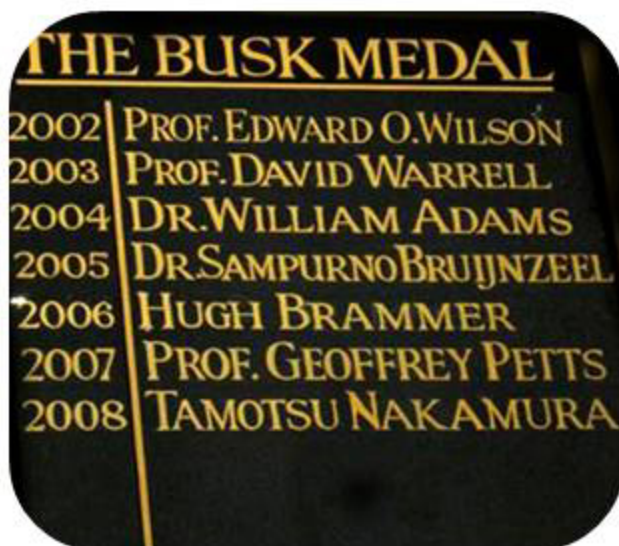
王立地理学協会(RGS)会長 Sir Gordon Conway氏と



銀色のBusk Medal



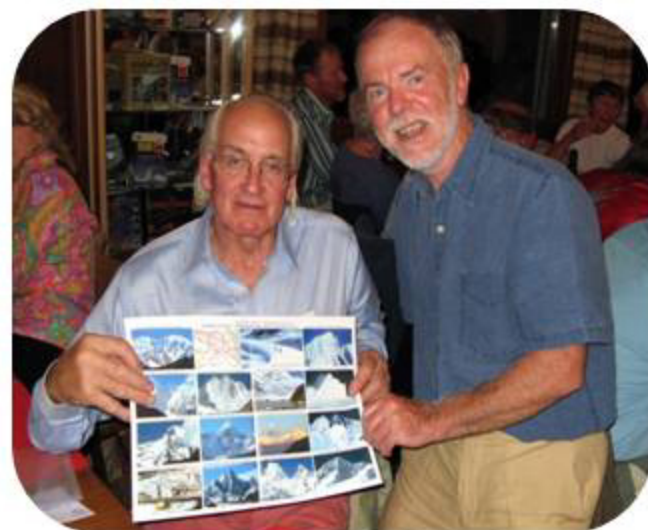
RGS本館 ハイドパーク館 ケンザントンゴア



ホール入口の受賞者銘版

すぐれた探検、登山活動など地理学に関わる業績を上げた者に対して毎年授与される賞。グラス・ポニントン、ダグ・スコットなども受賞している。中村氏は18年にわたる東チベットの未踏地域での探検活動が評価された。日本人としては初めての受賞。

同氏はまたアルパインクラブの名譽会員へも選挙され、2009年2月の年次晩餐会で選渡の予定。日本人としては兼父宮殿下に次ぐ2人目。(尚中村氏は2003年にこの業績に対して兼父宮記念山岳賞を受賞している)



英国を代表する登山家Doug Scott氏(左)

中村保さんの王立地理学協会メダル受賞祝賀会



記念講演-3つの幸運

2008年9月30日
東京富士屋ホテルにて



奥様、BCキーパーごちそう



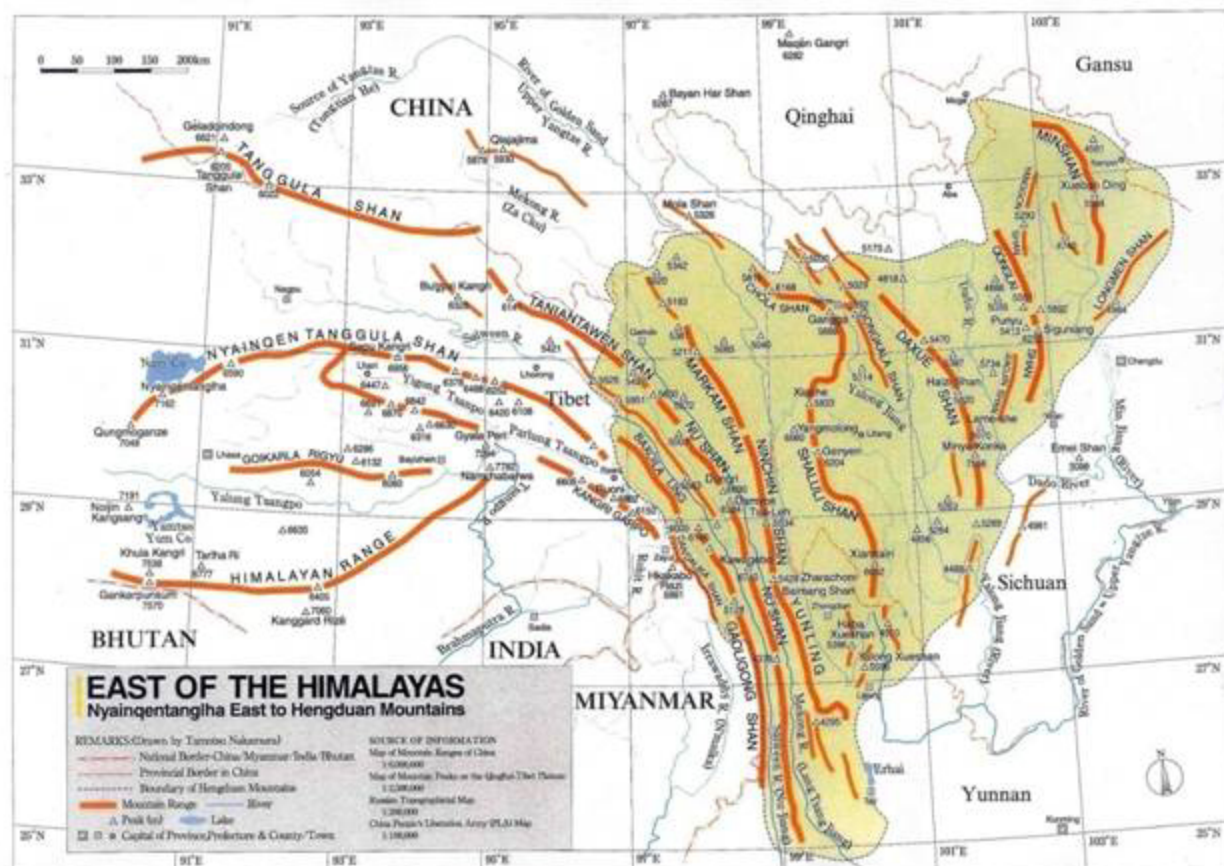
一橋山岳部マジ
昭和5年制定



若人への思いの伝承



昭和30年一橋山岳部 3.4.2年生トリオ



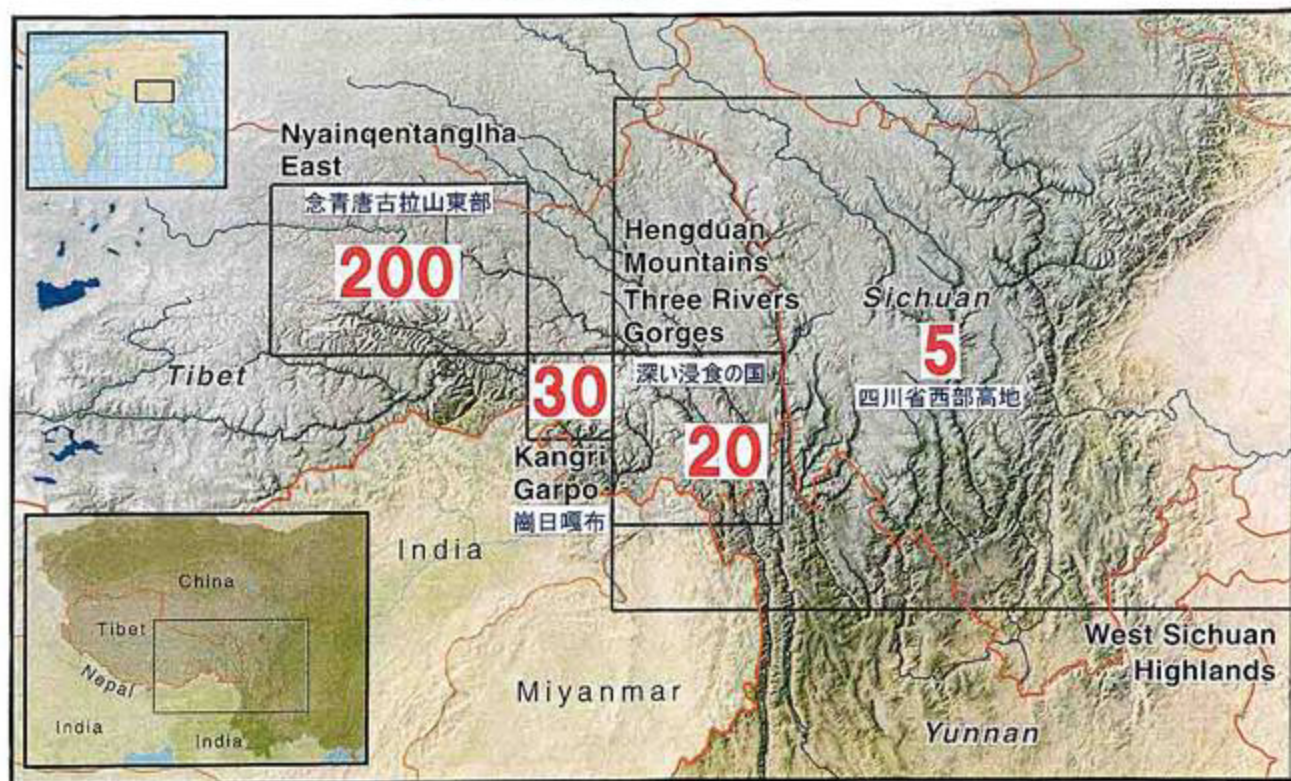
ヒマラヤの東

1億5千万年前、ゴンドワナ大陸から分裂した陸地は北上を続け、約5千万年前ユーラシア大陸と衝突、現在のインド大陸ができた。その折、大断崖山脈ヒマラヤが生まれた。衝突の最も大きな圧力がなかったのは外縁部、ヒマラヤの東で、地層は大きく変形し、地塊が歪んだ。そしてわずか1650kmの間に5つのアジアの大河が南北に流れる「深い浸食の国」が生まれた。峡谷から山頂までの垂直差は3千から5千mもあり、東西の交通を遮断、世界最大の谷を形成している。

このヒマラヤ山脈の東に広がる「ヒマラヤの東」と言う地域は面積的にはヒマラヤそのものより匹敵する。四川の省都・成都から拉萨へと延ぶ約1300km、1時間ほどの間、暮子江(長江 Yangtze R.)、メナム(瀾滄江 Lancang Jiang)、サルウィン(怒江 Nu Jiang)、イアワジ、ヤルツァンボ(ブタマハラ上流 Yalu Tsangpo)の5大河が鋭い山に注ぎ下る、山また山の世界が広がる。世界でこれだけの数の高峰をいながらして見下ろせる空路は他には無い。

East of the Himalaya – Alps of Tibet

255 Unclimbed 6,000 Peaks-April 2008



ヒマラヤの東-未踏の山々

「ヒマラヤの東」は四川盆地の西の端からラサの東までをカバーする。その山域は東から、四川省西部高地、深い浸食の国、崗日嘎布(Kangri Garpo)そして念青唐古拉山(Nyainqentanglha)東部に分けられる。そこには6千Mを超える未踏の山々が実に255座もある。とりわけ念青唐古拉山東部は200峰を数える未登峰の宝庫である。

ヒマラヤの東で本格的登山が行われたのは1932年のアメリカ隊によるミニャーゴンカ(7556M)の初登頂であった。1941年には望月達夫OBが「ミニャーゴンカ山群」として日本で初めて紹介した。

しかしその後中国は激動の時代に入り、1980年代まで一帯は外国人には閉鎖されてしまった。とりわけ新中国に最も激しく抵抗した勇猛なカンパ族の住む一帯は今でも厳重な管理下におかれ、外国人は容易には入域できない。

1. 念青唐古拉山脈(Nyainqen Tanggula Shan)東部の山々



2006年秋

念青の末梢峰のバシアイ
(Photo by Mr. Mark Hickey)

念青唐古拉山脈

拉萨から北へ車で6時間ほどの地にある「天の湖」納木錯(ナムツォ)の南の7千メートルに始まり、東はヤルンツァンポの大屈曲部の東の然烏(ジャンウ)まで氷を繋いで連なる全長7500kmの長大な山脈である。山系としては中間よりやや西寄りの嘉黎(ジャリ)を境に東西に分かれる。西部は全体の高度が高く青藏高原を形成、7千メートル以上の高峰4座が集中している。山脈と同名の最高峰念青唐古拉山(7162m)は1986年に東北大蔵により初登頂された。東部は湿潤な気候で美しい針葉樹林が繁り、深い峡谷が連続、数えきれないほどの末梢の6千メートル峰が存在する。

川蔵南路より
八松措方面へ



2001年10月

八松措の東岸を経て本源の谷を半日ほど北上、ツォンバ村の東に屹立する盤名の末爾峰西面(6414M)

八松措とテマ醫院島



2002年10月

川蔵南路より朱拉那方面へ



八松橋より西へ車、トラック、馬で朱拉、ブナカと通り、5日目にたどり着いたキャンプから望んだ未踏の山域最高峰ネナン南面(6870M)。左下:ネナン南東壁(右)より西南西方面、チャンデンを望む。



ブナカ村より望む未登峰チューチュー西面(6550M)





川蔵南路はナムチャバルを真逆に望む色季拉(セチーラ峠 4500M)を越えて北へ下ると、易貢蔵布と帕陸蔵布の合流する通表にいたる。川蔵南路はそこで東へ向う。反対に西に向かうと東チベット最後の辺境、易貢(イブ)界にいたる。その南側には天を突く聖峰ダモツ(5688M)の北壁が望まれる。

未登峰(5700M)





易貢邦から北へ支流のニウ曲の開けた谷を進くと巴玉で谷は東西に分かれる。深いジャングルの中を東へ進くとチベット最大の氷河、恰音氷河(Qangding Gl.)の谷の出会いとなる。そこから南側対岸に、河床から高差4千Mでそそり立つ聖山ハエンガルボ(6388M)の圧倒的な北面が望まれる。



念青唐古拉山群東部核心部



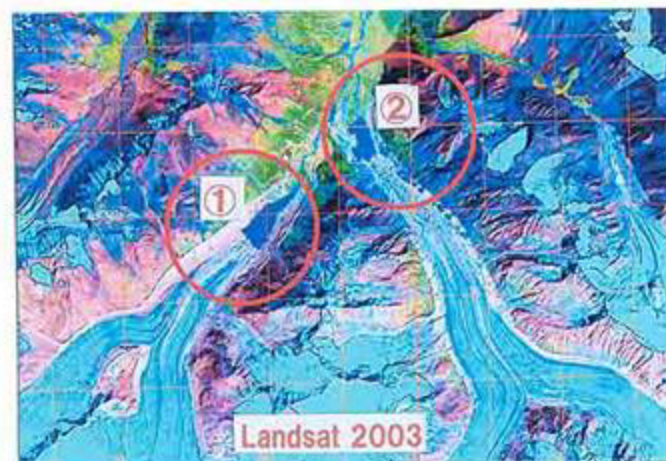
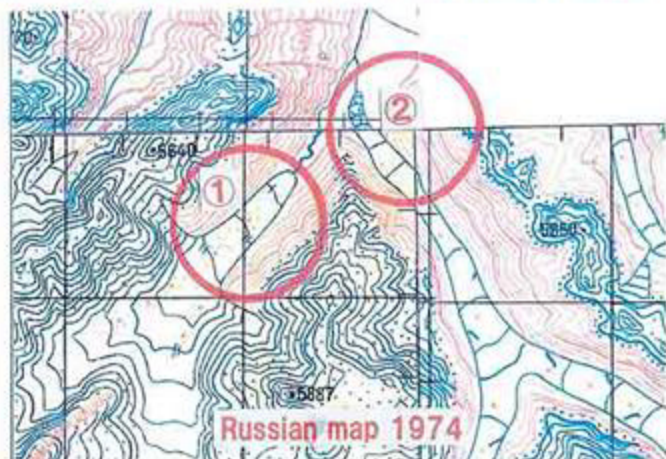
昌都より南へ約100KM, そこから西へいくつもの峠を越えて370KM, 5日の旅を経て東チベットの最深部にいたる。
普玉谷(Puyu Valley)の奥にコナI峰(6378 M 右)、コナII峰(6334M 左)が朝日に輝く。



普玉谷周辺の最高峰ゴンガ(6488M)北壁

Receding of Glaciers and Birth of Glacial Lakes

Nyainqentanglha East, Eastern Tibet 1974 – 2003



念青唐古拉山脈東部はベンガル湾からの暖かい湿った気流の主要通過地となっており降水量が多く本河が最も発達している。長さが1000mを超える本河は28あり、そのほとんどは易貢蔵布と柏隆蔵布に集中している。この一帯の本河はほとんど峡谷型で東流を向き、この地域の地生と気流の方向が見て取れる。易貢格の北に位置する恰音(チアチン)本河は長さ39KM、面積151.5km²ありチベット最大の規模である。その東側の波堆蔵布の谷では過去30年(1974-2003)の間に本河末端に新たな本河湖が2つも誕生している。



五仁舞から則普(ゼブ)山を西へ2日、巨大な則普本河の出会いを越え北上する。一帯はみごとなU字谷となり、通は上高地から麓沢へ向かう緑林帯に似てゐる。午後3時過ぎジャロン本河の出会いに着く。ジャロン1峰(6292M)東面の秀麗な本雪のドミノが姿を表わす。



盤名峰(6103m)南面



盤名峰(5800M)東面



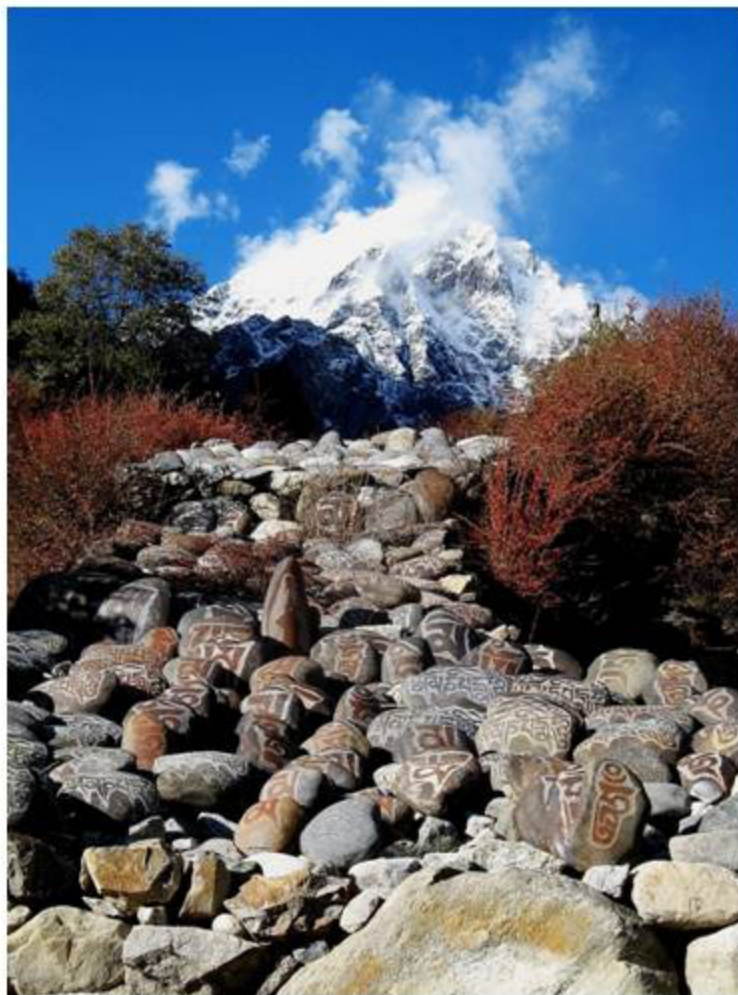
トジザ(6240M)北面



无名峰(5600M)西面



无名峰(6135M)西面



マニ石の谷(波堆蔵本)



波密村近の樹上寺(子供の松)

2. 崗日嘎布(カンリガルポ)山群の山々



盤名峰(6405M)東面 拉古本河源頭

崗日嘎布(カンリガルポ)山群

林芝地区の波密県南部と昌都地区八宿県南部へまたがる全長280KMのこの山群は、長大な3つの山系、つまりマテヤ、念青唐古拉山脈そして横断山脈の狭間に位置する一つの山系である。ベンガル湾から吹きあげる湿潤な南西季節風を受けて、大量の降雪がもたらされ、チベットの中では海洋性水河が最も発達している。どこから向かっても遠く深い、正に「空白帯」という言葉がぴったりする辺境である。



釜名峰(6006M)北面

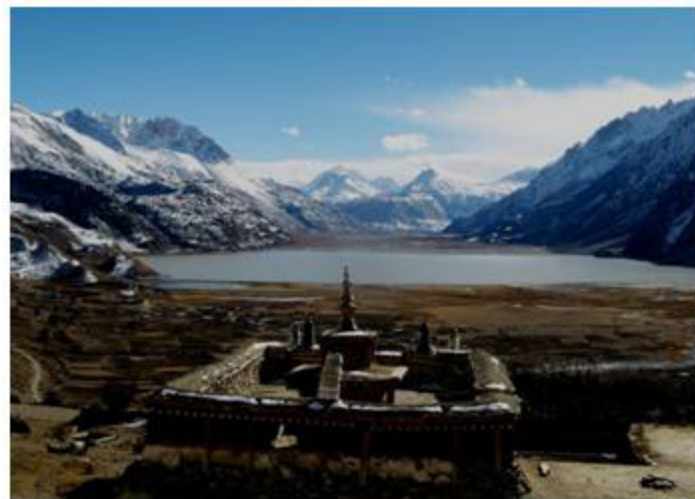


ハモゴノガ(6260M)東面と残月



シュクデノゴノ
バ(林登寺)

トジツェンザ(5662M)東面
然烏湖



経典を讀む若い僧

3. 川蔵南路を東へ・川蔵南路は四川へ向けてさらにメコン、楊子江の上流部を超えて行く



メコン上流部



巴塘の僧院

金沙江・巴塘の南

4. 深い浸食の国



チベットの神祕の河-玉曲(ユイチュー)怒江-サルウィン上流

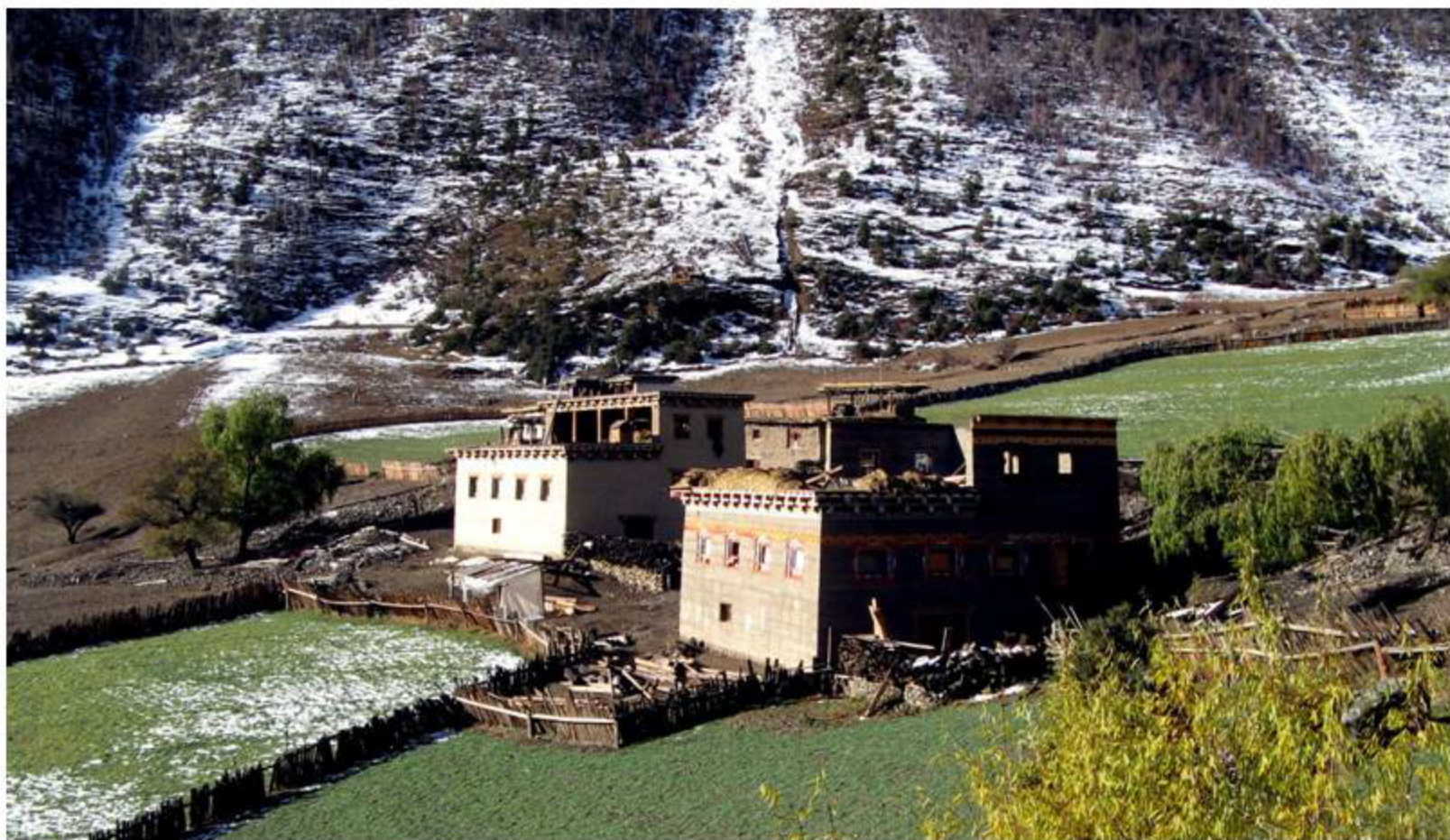




サルウィンの大屋島群-雲南省



サルウィン流域のカトリック教会-雲南省



ト一村と家族



フィワロンの少女



玉山沿いの寛島の小学校。
西郷大園長は確実にここまで来ている。



玉山沿いに進むキャラバン



サルウインと大工の分水嶺をなす長大な山系-他念他翁山の主峰ザムゴン(大木勇6324M)は女神の山である。2007年横断山脈研究会の隊が初めて西面の写真を撮った。



無名の未登峰(5800M)西面